鉄鋼新聞　2025年8月15日(木)　非鉄　4面

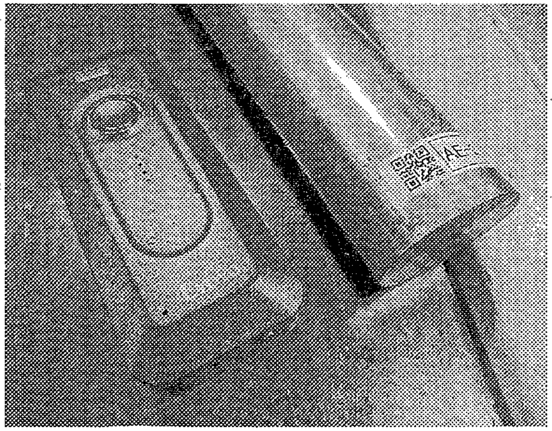
在庫管理にQRコード活用

誤出荷防止、トレーサビリティ強化

大和合金

銅合金の鍛造品や鋳造品などを手掛ける大和合金（本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏）は在庫・出荷の管理について、このほどQRコードの活用を始めた。製品に貼付したQRコードを出荷時にリーダーでスキャン。登録された材質やサイズ、長さや向け先などの情報を工場内のPCやタブレット端末で確認する。誤出荷の防止などが狙い。QRコードを活用する管理システムは、自社で開発した。

リーダーで読み取った際には出荷品を見分ける際の注意点も表示されるほか、長さが公差内に収まっているかも判定する。QRコードでの在庫・出荷管理は誤出荷の防止に加えて、トレーサビリティの強化や在庫帳簿の管理効率化などにもつながる。



QRコードが貼付された製品㊨とリーダー